

編 集 後 記

今月号 (島根医学 Vol 31) も多数のご投稿ありがとうございました。

第93回生涯教育講座：「光触媒と医療」(吉田正人先生) では、光触媒技術やその応用製品が知られているが、酸化チタン光触媒の酸化分解力と超親水性の作用の働きを医療現場の環境改善や診療技術に光触媒技術としてどのように活かされているか紹介されている。医学、医療へのさらなる応用を期待するものである。

「神経疾患におけるアパシーとその治療」(山口修平先生) では、アパシーは脳血管障害、パーキンソン病、認知症疾患などの神経疾患でしばしば認められ、患者以上に介護者の負担となる症状である。治療では、ドパミン作動薬やアセチルコリン作動薬がファーストチョイスの薬剤であり、更にエビデンスが必要である。脳梗塞発作後などで経験することがあり、うつ病との鑑別が必要であると詳しく解り易く解説されている。

総説：「乳幼児への肺炎球菌結合型ワクチン接種による高齢者の感染防御」(泉信夫先生) PCV7の乳幼児の全般接種は高齢者への間接効果として肺炎罹患率の低下があることを米国の成績で示されている。高齢者のIPD対策は自身のPPSV23接種と地域の乳幼児のPCVの高率接種にあると解説されている。

臨床・研究：「膀胱全摘除術、回腸新膀胱造設術後に左尿管内再発を来した膀胱癌の1例」では術後の局所再発に関しての文献的考察である。「僻地地域医療の問題点、課題、将来展望」では島根県の僻地医療は十分に機能していないが、医師不足と医師の偏在が原因であり、総合診療医育成が地域医療再生に重要であると説明されている。医師の偏在をなくしたいものである。「骨粗鬆症性錐体骨折と胃酸逆流症状との関連について」では骨粗鬆症による脊柱後弯が食道裂孔ヘルニア、逆流性食道炎に進展すると説明されている。

研究会抄録：「第78回山陰肝胆膵疾患研究会の報告」

今後も多くの投稿をお願い致します。

(M・I)

島根医学編集委員

岩本正敬， 貴谷 光， 錦織 優， 児玉和夫， 葛尾信弘，
森本紀彦， 浅野博雄， 木下芳一， 佐藤比登美， 小林祥泰，
中山健吾， 徳島 武

島 根 医 学

平成23年6月30日発行

発行者 島 根 県 医 師 会
益田市乙吉町
編 集 編集者 岩 本 正 敬

発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松 陽 印 刷 所